

Ý Thức Mới Phạm Công Thiến
trong
Văn Nghệ và Triết Học

新しい意識

ファム・コン・ティエン
野平宗弘 訳

ぼくは死を愛するから、我を忘れるほど人生を愛する。この愛こそ、人間の極限的な絶望から脱け出し現れた〈新しい意識〉だ。

近代西欧の文学・思想の批評を通じて、自身の内なる〈生〉の炎を燃え上がらせる若き詩人思想家の苦悶と覚醒の記録。1964年、既存の価値喪失によって突きつけられる不承理に直面したベトナム戦争下の若者たちの共感を呼び、現在も読み継がれる渾身の書。時代や地域を越えていのちの共鳴を呼び起こす——初邦訳。

定価：本体 3800 円 + 税 東京外国語大学出版会

四六判変形・並製・564 頁・3800 円 + 税
ISBN 978-4-904575-96-3 C0098

2022 年 4 月 1 日発売

1964 年、ベトナムの若き詩人思想家の苦悶と覚醒の記録

著者 ファム・コン・ティエン

1941 年、ベトナム南部ミイトー生まれ。詩人、思想家。13 歳で正規の教育をドロップアウトし独学を続け、10 代半ばより執筆活動を始める。1960 年代半ばより発表された一連の著作によって、ベトナム戦争当時の南ベトナムで話題となり時代の寵児となる。1987 年に執筆活動を再開し、文学・哲学・仏教思想に関する多くの著作を発表。2011 年、テキサス州ヒューストンにて没。

訳者 野平宗弘

1971 年生まれ。東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授。専門はベトナムの文学・思想。著書に、『新しい意識 ベトナムの亡命思想家ファム・コン・ティエン』（岩波書店、2009 年）、翻訳書に、井筒俊彦『禅仏教の哲学に向けて』（ぶねうま舎、2014 年）、ヘンリー・ミラー『ヘンリー・ミラー・コレクション 15 三島由紀夫の死』（共訳、水声社、2017 年）などがある。

ヘンリー・ミラー、カフカ、クレマン・ロセ、ジッド、フォークナー、フロム、鈴木大拙、サルトル、ハイデガー、ユグナン、ヘミングウェイ、カザンザキス、トマス・ウルフ、ニーチェ、チャップリン、モーム、サローヤン、イヴォ・アンドリッチ、アポリネール、禅などの思想における新しい意識のあり方を通じて、自身の内なる〈生〉の炎を燃え上がらせ論じる文芸批評をまとめた一冊。ベトナム戦争下の若者たちの共感を呼び、現在も読み継がれる導きの書。時代や地域を越えていのちの共鳴を呼び起こす。1967 年の思想書『深淵の沈黙』（訳書は東京外国語大学出版会から 2018 年刊行）に続き初邦訳。

絶望の果てに
覚醒する

新しい意識

ファム・コン・ティエン【著】

野平宗弘【訳】



東京外国語大学出版会

Tokyo University of Foreign Studies Press

発行：東京外国語大学出版会 TEL：042-330-5559

URL：http://www.tufs.ac.jp/blog/tufspub/

*ご注文・ご予約は、最寄りの書店、各ネット書店にてお申し込みください。全国の書店でお取り扱い可能です。